

# 地域包括

# 支援センター

# ニュース

～地域包括支援センターは、高齢者の相談窓口です～

## 【特集 認知症 6】

- 認知症の予防
- 認知症初期集中支援チームの活動
- 認知症を地域で支える



清水町地域包括支援センター

ところ 清水町堂庭221-1(福祉センター内)

でんわ 055-981-1675

### 認知症の予防

アルツハイマー型認知症などは進行性の病気ですが、発症や進行を遅らせることができず。食生活やライフスタイルの見直し、生活習慣病（糖尿病や高血圧症など）の治療を適切に受けること、趣味活動や社会参加を続けることなどが大切です。

また、ほかの病気が原因で認知症状が現われる場合もありますので、早めにかかりつけ医に相談し検査を受けましょう。

### 高齢者の交流の場として ウェルカフェ定例会を開催しています。

- 【場所】
- ・ウエルシア清水町 新宿店 毎月第2水曜日
  - ・ウエルシア清水町 徳倉店 毎月第3水曜日
- 【開催時間】
- 午後1時30分から  
午後3時まで

### 認知症を 地域で支える

清水町地域包括支援センターには、認知症地域支援推進員が配置されています。認知症に関する相談や地域での支援ネットワーク作りをしています。

### オレンジカフェを 開催しています。



地域住民の方、認知症に対して不安がある方やその家族、医療や福祉などの専門職が集まって情報交換をしたり『新たな出会い』と『地域のつながり』の場所として、気軽にしゃべりする時間を一緒に楽しみませんか？

申し込み不要なので、お近くの方は、買い物帰りや散歩の途中にお気軽にお立ち寄りください。憩いの時間を一緒に過ごしましょう。

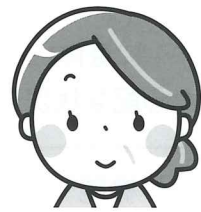


### 認知症初期集中 支援チームの活動

清水町地域包括支援センターには、認知症初期集中支援チームがいます。認知症の方、または認知症の疑いがあるが適



新しい友達ができ、仲良くなりました。



切な医療や介護サービスに結び付いていない方に対して、早期に対応して医療や介護サービスにつなげます。

### ケース1 家族と同居

5分前のことを忘れ、従業員にきつく怒ることが増えた。お金の管理ができなくなった。日常生活は家族が支援しているのですが問題は無い。かかりつけ医に認知症の相談をするが、仕事が生きがいであり認知症専門医の受診を拒否しているのに対応できていないとのこと。チーム員が認知症専門医に相談。往診で対応してくれることになった。

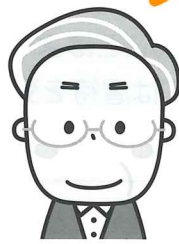
### ケース2 単身世帯

50代後半から、事務手続きができない、思い通りにならないと大声で騒ぐなどあったが、日常生活には大きな支障がなく過ごしていた。60代半ばになり、車で何度も物損事故を起こす、業者や金融機関の手続きができず感情的になり怒鳴る。ゴミの処理ができなくなり近所から苦

年齢もいろいろ、考え方もいろいろで楽しい。



おしゃべりすることが楽しみ。聞いているだけでもいい。



情が入る。チーム員会議でサポート医（※1）と検討し、主治医に紹介状を依頼する。認知症疾患医療センター（※2）に情報提供し受診となった。

※1地域において認知症の対応をしている医療や介護の専門機関との連携・サポート役を担う医師。

※2認知症疾患における鑑別診断や専門医療相談などを行う専門医療機関で、静岡県が指定。

- 【駿東田方圏域の 認知症疾患医療センター】
- ・NTT東日本伊豆病院
  - ・静岡医療センター
  - ・ふれあい沼津ホスピタル



### 令和3年度 オレンジカフェ開催日

- |        |     |
|--------|-----|
| 8月27日  | (金) |
| 9月17日  | (金) |
| 10月22日 | (金) |
| 11月26日 | (金) |
| 12月24日 | (金) |
| 令和4年   |     |
| 1月28日  | (金) |
| 2月25日  | (金) |
| 3月25日  | (金) |

### 【開催時間】

午後1時30分から  
午後3時まで

### 【場所】

清水町福祉センター 3階  
福祉団体室／会議室⑥

### 【申込み、問合せ】

清水町地域包括支援センター  
☎ 981-1675

## 地域に心配な高齢者はいませんか

地域の高齢者について、「あれ?おかしいな」「大丈夫かな?」など、小さな気づきがとても大切です。みなさんの周りに心配な方がいましたら、清水町地域包括支援センターにご相談ください。

以下は一例です。

	高齢者のサイン	考えられる原因
健康	顔色が悪い。髪やひげ、爪が伸びて汚れている。転んでばかりいる。季節感のない洋服やいつも同じ服を着ている。	健康状態が心配です。一人暮らしであれば支援や医療の必要があります。家族がいても介護力の低下を示します。
	最近痩せてきてふらついている。	食べられない、あるいは食べるものがない状態で、健康状態の悪化や経済的な問題を抱えていることがあります。
	しばらく姿を見ない。新聞や郵便物がたまっている。	徐々に身体機能が低下してきたか、突然倒れてしまったか心配な状況です。早急に安否確認が必要な状態です。
生活	ゴミがあふれ臭いがする。庭の草木が伸び、物が散乱している。	身体機能や認知機能が低下し片付けができない状況です。
	お金がない、家賃や光熱費を滞納している。	経済的問題がお金の管理が自分でできなくなっている状態です。また消費者被害や金銭搾取が疑われます。
家族	怒鳴り声や泣き声がある。	聞こえにくい高齢者に大きな声で話をすることはよくありますが、怒鳴り声や言葉遣いによっては虐待を受けている可能性が考えられます。
	けがやあざがある。家の外で見かけない。	高齢者の傷は命にもかかわる危険な状態に進むことがあります。認知症の進行や介護負担が増えていることが原因として考えられます。
行動	目的もなく出歩いている。道に迷う。	認知症の症状には時間の見当がつかなくなったり、住み慣れた地域でも新しい建物ができたりすると混乱して家に帰れなくなることがあります。

困っていても相談することができない高齢者や家族に対して、地域の方のちょっとした見守り、声掛けでいつまでも安心して生活できるようになります。

清水町地域包括支援センターと一緒にやさしいまちづくりを目指しましょう。